

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	モノタロウ 洗濯洗剤(柔軟剤タイプ)		
会社名	株式会社MonotaRO		
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階		
担当者名	商品お問合せ窓口		
電話番号	0120-443-509	FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ		
推奨用途及び使用上の制限	洗濯用洗剤		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性固体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(吸入:粉じん)	区分3
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分3

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険
飲み込むと有害
吸入すると有毒
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
水生生物に有害

注意書き

安全対策

容器を密閉しておくこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、ヒュームの吸入を避けること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

応急措置

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。

保管	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 関係者以外が触れないように保管すること。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物	混合物		CAS No.	濃度または濃度範囲
	官報公示整理番号 化審法	安衛法		
ドデシルベンゼンスルホン酸ソーダ (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)	(3)-1884	既存	25155-30-0	16%
ポリオキシエチレンラウリルエーテル (ポリオキシエチレンアルキルエーテル)	(7)-97	既存	9002-92-0	1%
ゼオライト (アルミノけい酸塩)	対象外 (天然物)	既存	1318-02-1	17%
ケイ酸ナトリウム (けい酸塩)	(1)-508	既存	1344-09-8	8%
炭酸ナトリウム (炭酸塩)	(1)-164	既存	497-19-8	23%
硫酸ナトリウム (工程剤)	(1)-501	既存	7757-82-6	26.9%
ベントナイト (柔軟剤)	対象外 (天然物)	既存	1302-78-9	5%
カルボキシメチルセルロースナトリウム (分散剤)	(8)-203	既存	9004-32-4	1%
4-アミノスチルベン (蛍光増白剤)	不明	不明	834-24-2	0.2%
細菌プロテアーゼ (酵素)	不明	11-(2)-247 11-(2)-227 11-(2)-226	9014-01-1	0.2%
色材	不明	不明	---	1.5%
香料	不明	不明	---	0.2%

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚または髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水またはシャワーと石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水。 大火災：粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、散水。
-----	--

特有の危険有害性	可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。 火災時に刺激性、腐食性または毒性のガスを発生するおそれがある。 吸入すると有害となるおそれがある。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。
特有の消火方法	接触や吸入の効果は遅れて現れるおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器内に水を入れてはいけない。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。
消火を行う者の保護	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 空気式呼吸器（SCBA）を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急処置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 風上に留まる。 低地から離れる。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	すべての発火源を取り除く。 危険でなければ漏れを止める。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 火気注意。 皮膚、眼への接触、吸入または飲み込まないこと。 排気用の換気を行うこと。 屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。
安全取扱注意事項	
接触回避 衛生対策	
保管	
安全な保管条件	酸化剤から離して保管する。 関係者以外が触れないように保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学物質名	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値）	
		日本産業衛生学会 2015年版	ACGIH 2015年版

ドデシルベンゼンスルホン酸ソーダ (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)	未設定	未設定	未設定
ポリオキシエチレンラウリルエーテル (ポリオキシエチレンアルキルエーテル)	未設定	未設定	未設定
ゼオライト（アルミノけい酸塩）	未設定	未設定	未設定
ケイ酸ナトリウム（けい酸塩）	未設定	未設定	未設定
炭酸ナトリウム（炭酸塩）	未設定	未設定	未設定
硫酸ナトリウム（工程剤）	未設定	未設定	未設定
ベントナイト（柔軟剤）	未設定	未設定	未設定
カルボキシメチルセルロースナトリウム（分散剤）	未設定	未設定	未設定
4-アミノスチルベン（蛍光増白剤）	未設定	未設定	未設定
細菌プロテアーゼ（酵素）	未設定	未設定	STEL C 0.00006 mg/m3 (as crystalline active enzyme)

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。

保護具

呼吸用保護具

適切な保護マスクを着用すること。（防じんマスク、簡易防塵マスク）
換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な保護眼鏡を着用すること。（化学飛沫用ゴーグル等）

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色）	固形、粒状粉末、白色
臭い	レモンの香り
臭いの閾値	データなし
pH	10～11（20℃、0.1%水溶液）
融点・凝固点	>250℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	該当しない
燃焼性（固体、気体）	可燃性のスクリーニング試験では、可燃性物質に該当しない。
燃焼または爆発範囲の上限、下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度（空気=1）	データなし
比重（相対密度）	0.75～0.95 g/mL
溶解度	水に可溶
n-オクタノール／水分係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度（粘性率）	該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件においては安定である。
化学的安定性	通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力または熱を放出する危険有害な反応または重合は起こらない。
避けるべき条件	熱、火花、裸火などの着火源。
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	情報なし

1 1. 有害性情報

急性毒性 経口	成分の急性毒性値は、ドデシルベンゼンスルホン酸ソーダ 438mg/kg、ポリオキシエチレンラウリルエーテル 1170mg/kg、ケイ酸ナトリウム 1960mg/kg、4-アミノスチルベン 500mg/kg（区分4変換値）、細菌プロテアーゼ 370mg/kg、炭酸ナトリウム 4090mg/kg、硫酸ナトリウム >2000mg/kg、カルボキシメチルセルロースナトリウム 27000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が1427.61mg/kgのため、GHS:区分4「飲み込むと有害」に該当する。(混合物の23.7%は毒性が未知の成分からなる。)データ不足のため分類できない。
経皮 吸入（蒸気） 吸入（粉じん）	データがなく分類できない。 成分の急性毒性値は、細菌プロテアーゼ 0.0177mg/L、炭酸ナトリウム 1.2mg/L、4-アミノスチルベン 1.5mg/L（区分4変換値）、硫酸ナトリウム >2.4mg/Lであり、混合物の急性毒性推定値が0.76mg/Lのため、GHS:区分3「吸入すると有毒」に該当する。(混合物の48.7%は毒性が未知の成分からなる。)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ドデシルベンゼンスルホン酸ソーダ、ポリオキシエチレンラウリルエーテル、ケイ酸ナトリウム、ベントナイト、4-アミノスチルベンが区分2で、区分2の成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「皮膚刺激」に該当する。
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	ポリオキシエチレンラウリルエーテル、ケイ酸ナトリウム、炭酸ナトリウムが区分1、成分濃度の合計が濃度限界(3%)以上のため、GHS:区分1「重篤な眼の損傷」に該当する。
呼吸器感受性	区分1の濃度が濃度限界(1.0%)未満であるため分類されない。 区分1（分類に寄与しない）：細菌プロテアーゼ
皮膚感受性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ドデシルベンゼンスルホン酸ソーダ、炭酸ナトリウム、ベントナイト、4-アミノスチルベンが区分3（気道刺激性）で、成分濃度合計が濃度限界(20%)以上のため、GHS:区分3（気道刺激性）「呼吸器への刺激のおそれ」に該当する。 炭酸ナトリウムが区分3（麻酔作用）で、成分濃度合計が濃度限界(20%)以上のため、GHS:区分3（麻酔作用）「眠気またはめまいのおそれ」に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	ドデシルベンゼンスルホン酸ソーダ、ポリオキシエチレンラウリルエーテルが区分2で、区分2の成分濃度X10の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分3「水生生物に有害」に該当する。(本混合物の成分24.9%については水性環境有害性が不明である。)
水生環境有害性（長期間）	データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。</p> <p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p>
汚染容器及び包装	<p>水溶液は、強アルカリ性を示すため酸で中和した後処理すること。</p> <p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	<p>輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。</p> <p>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p> <p>重量物を上積みしない。</p>
緊急時応急措置指針番号	なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9）（サチライシン）
化審法	優先評価化学物質（法第2条第5項）（アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（アルキルは炭素数が10から14までの直鎖アルカンの基に限る。）、 α -アルキル（C=12～15）- ω -ヒドロキシポリ（オキシエチレン）（数平均分子量が1,000未満のものに限る。））
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）、ポリ（オキシエチレン）=アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。））

16. その他の情報

連絡先	株式会社MonotaRO
参考文献	<p>NITE GHS分類公表データ</p> <p>EU CLP Regulation, AnnexVI</p> <p>RTECS</p> <p>ECHA C&L Inventory Database</p> <p>ECHA Registered substances Database</p>

注意

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。なお、新しい知見及び試験等により改正される事があります。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。全ての化学製品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。